

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスPOPO		
○保護者評価実施期間	8年 3月 1日		8年 4月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	8年 3月 26日		8年 4月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	8年 4月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日々の連絡や情報共有を通じて、保護者との信頼関係が構築されている	・保護者との連絡帳や送迎時のやり取りを通じて、日常的な情報共有を行っている	・地域との交流機会(児童館・他事業所・地域イベント等)を増やし、社会参加の機会を拡充する
2	・相談対応体制が整っており、迅速かつ丁寧な対応ができています	・避難訓練(年2回)等を実施し、安全面への意識づけを行っている	・保護者同士の交流機会や家族支援(研修・情報提供等)の充実を図る
3	・子どもが安心して通所できる環境づくりができています(安心感・満足度が高い)	・子どもの自己選択や主体性を尊重した支援を意識している	・支援プログラムや個別支援計画の内容について、より分かりやすい説明と見える化を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・災害時の引き渡し方法や対応フローについて、保護者への周知が十分とは言えない	・地域との連携は一部(連絡会等)にとどまり、広がりが十分ではない	・災害時の対応(引き渡し方法・連絡体制)について、書面配布や訓練を通じた周知の強化
2	保護者同士の交流機会や家族支援の機会が十分に確保できていない	・家族支援について、個別対応が中心となり、集団的な支援機会の設定が不足している	・協議会や外部研修等への参加を推進し、外部視点を取り入れた運営改善
3	・活動スペースや環境設定について、一部で改善の余地がある	・活動スペースや環境設定について、利用人数や活動内容により柔軟な対応が求められている	・保護者会や情報提供機会の設定など、家族支援の仕組みづくり